

● ● ●

エコマーク20周年 記念事業特別協賛のご案内



財団法人日本環境協会 エコマーク事務局
日本経済新聞社 クロスメディア営業局

エコマークとは？

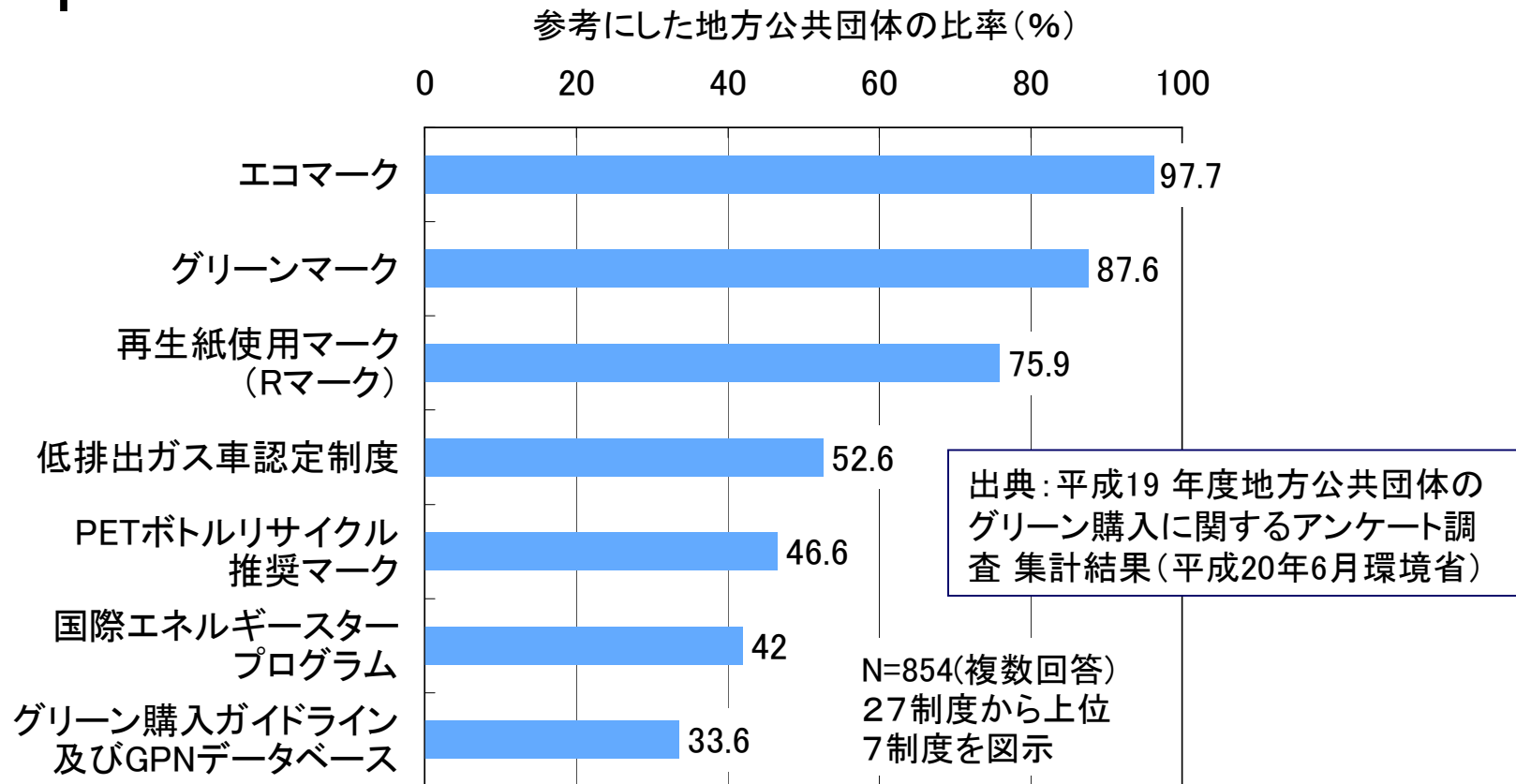
エコマークは、様々な商品の中で、「生産」から「廃棄」にわたるライフサイクル全体を通して環境への負荷が少なく、環境保全に役立つと認められた商品につけられる環境ラベルです。マークを活用して、消費者のみなさんが環境を意識した商品選択を行ったり、関係企業の環境改善努力を進めていくことにより、持続可能な社会の形成をはかることが目的です。

財団法人日本環境協会が1989年に開始し、今年20周年を迎えました。ISO14020(環境ラベル及び宣言—一般原則)およびISO14024(環境ラベル及び宣言—タイプ I 環境ラベル表示—原則及び手続き)に則って運営しています。環境を総合的に考慮した基準に基づき、第三者機関である日本環境協会が厳格に審査しています。

「私たちの手で地球を、環境を守ろう」という願いを込めて、環境Environmentおよび地球Earthの頭文字「e」を表した人間の手が、地球をやさしくつつみ込んでいるすがたをデザインしたマークは、日本環境協会が1988年に一般公募したデザインの中から、環境庁長官賞として選ばれた作品をもとに制定されました。日本環境協会の登録商標です。



(参考) 地方公共団体がグリーン購入の際に 参考にする環境ラベル制度等



- ・調査対象: 全国1,874地方公共団体(47都道府県、17政令指定都市、788区市、1,022町村
平成19年6月20日現在)の環境担当部局または調達担当部局
- ・調査時期: 平成19年7月~平成19年8月
- ・回収状況: 1,408地方公共団体(回収率75.1%) ただし、上記設問での回答数(母数)は854

20周年記念事業の特別協賛について



下記の20周年記念事業を対象に特別協賛企業を募ります。

- (1) 10月8日「20周年記念講演会」(於東京)
- (2) 11月17～19日「世界エコラベリング・ネットワーク年次総会」(於神戸)
- (3) 日本経済新聞への20周年記念広告の掲載(9月下旬、全国版朝刊)

《特別協賛内容》

- (1)、(2)について、開催告知HPならびに当日の配布物に社名の掲出
- (3) 9月下旬掲載予定の広告紙面に社名を掲載

《特別協賛料金》

500, 000円(消費税別)



20周年記念講演会



2009年10月8日(木) 14:00~16:30

東京ウィメンズプラザ(東京都渋谷区神宮前5-53-67)

定員200名(先着順)、無料

(内容)

- ・開会挨拶 渡辺 修(財団法人日本環境協会理事長)
- ・講演「環境と金融について~三井住友フィナンシャルグループの事例を通じて」
北山禎介 氏(三井住友ファイナンシャルグループ取締役社長)
講演後、神保重紀 氏(日経エコロジー編集長)と対談
- ・講演「これからのエコマークについて」(仮題)
平尾雅彦 氏(東京大学大学院工学系研究科教授)
講演後、神保重紀 氏(日経エコロジー編集長)と対談
- ・閉会挨拶 宇野 治(日本環境協会エコマーク事務局次長)

世界エコラベリング・ネットワーク年次総会



1. 目的

1) 環境ラベルに関する国際的な情報発信

アジアを中心として成長著しい海外のタイプ I 環境ラベルを紹介し、海外に事業を展開している事業者へ情報発信する。欧米の環境ラベル機関と情報の共有を行う。

2) ステークホルダーへの情報発信：消費者、事業者、自治体、識者に国際的なタイプ I 環境ラベルの特徴を認知・理解してもらい、タイプ I 環境ラベルの普及を通じて、環境配慮商品の市場拡大、グリーン購入の促進を目指す。

3) エコマーク20周年：20年の節目として、20年を総括して今後の展望について述べる。

2. 日程

1) 2009年11月17日(火) ワークショップの第1セッションまで、一般公開。同時通訳有。

- ・オープニングセレモニー

- ・シンポジウム(エコマークや世界の環境ラベルの最新情報紹介)

 - 講演(コクヨ株式会社代表取締役社長黒田章裕氏から日本企業の先進事例を紹介)

- ・ワークショップ(第1セッション、第2セッション)

- ・レセプションパーティー

2) 2009年11月18日(水) エクスカーション

3) 2009年11月19日(木) ワークショップのまとめ

3. 会場：神戸ファッションマート(〒658-0032 神戸市東灘区向洋町中6丁目9番地)

(参考)世界エコラベリング・ネットワーク
Global Ecolabelling Network, GEN



世界のタイプ I 環境ラベル運営団体で構成する非営利団体。1994年設立で、2008年7月現在、27組織団体が加盟している。

財団法人日本環境協会(エコマーク事務局)は設立発起団体の一つ。

[運営体制] 役員7名と、運営事務局、総務事務局の9名で運営。日本は、総務事務局、監査人を担当している。

[役員会と総会] 年に2回の役員会(BOD Meeting)、総会(Annual General Meeting、AGM)を開催している。ヨーロッパ地域、アメリカ地域、アジア地域の持ち回りで開催している。

注:タイプ I 環境ラベル

ISO14024「環境ラベル及び宣言—タイプI環境ラベル表示—原則及び手続き」に準拠した運用で、第三者が『資源の採取から廃棄まで』全ライフサイクルにおける環境影響を一定の基準に基づいて認定する。